

## (9) 四国



四国地域では、景気はやや弱含んでいる。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

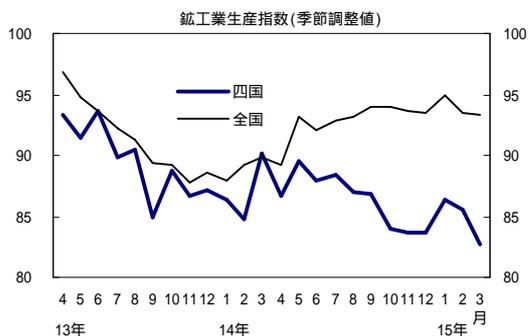
### 前回調査からの主要変更点

|       | 前回(平成15年2月) | 今回(平成15年5月) |  |
|-------|-------------|-------------|--|
| 鉱工業生産 | 減少傾向        | おおむね横ばい     |  |
| 住宅建設  | 緩やかに減少      | 減少          |  |

## 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

電気機械は、半導体がパソコン向けは低調ながら、カメラ付き携帯電話、DVD向けは好調であり、電子メディカル部品も堅調に推移していることから、持ち直しの動きがみられる。紙・パルプは、印刷用紙などが堅調に推移している一方で、チラシ紙のアジア向け輸出の減少やコピー用紙の在庫調整の遅れなどから、おおむね横ばいとなっている。化学は、内需の好調から高操業を継続しているのに加えて、アジア向け輸出が好調に推移しており、持ち直しの動きがみられる。食料品・たばこは、冷凍食品の需要が堅調なまま推移しており、持ち直しの動きがみられる。一般機械は、自動車向けや農業機械が好調である一方、建設機械などの需要低迷から、減少傾向にある。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

|         | 付加価値<br>ウェイト | 生産          |           | 出荷        | 在庫        |
|---------|--------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
|         |              | 10~12<br>月期 | 1~3<br>月期 | 1~3<br>月期 | 1~3<br>月期 |
| 電気機械    | 13.1         | 9.2         | 4.3       | 4.0       | 3.2       |
| 紙・パルプ   | 12.4         | 0.5         | 0.3       | 0.7       | 0.5       |
| 化学      | 11.8         | 7.0         | 9.2       | 10.2      | 8.0       |
| 食料品・たばこ | 11.4         | 5.9         | 2.6       | 4.0       | 6.5       |
| 一般機械    | 11.3         | 1.8         | 5.8       | 4.6       | 8.9       |
| 鉱工業     | 100.0        | 4.1         | 1.3       | 2.2       | 5.1       |

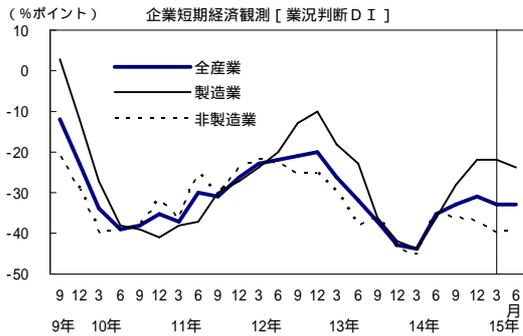
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 1~3月期は速報値。

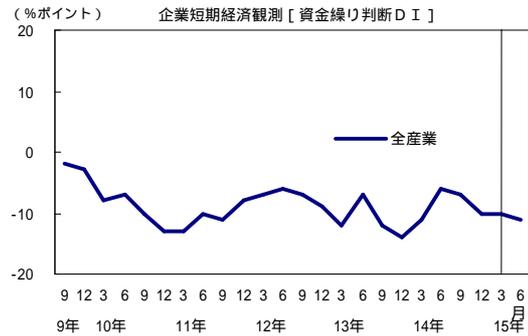
(備考) 1. 平成15年3月の四国は速報値。

2. 四国は平成7年基準(左目盛)、全国は平成12年基準(右目盛)。

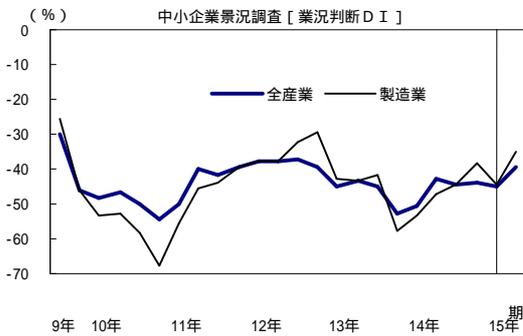
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「苦しい」超幅が横ばいとなっている。  
 企業短期経済観測調査 [業況判断D I、資金繰り判断D I] 及び中小企業景況調査 [業況判断D I]



(備考)「良い」 - 「悪い」回答者数構成比。15年6月は予測。



(備考)「楽である」 - 「苦しい」回答者数構成比。15年6月は予測。



(備考)「好転」 - 「悪化」回答者数構成比。15年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (4月調査) [企業動向関連 (現状判断)]

「法人客からのシステム受注など、販売量は3か月前とあまり変化がない(通信業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

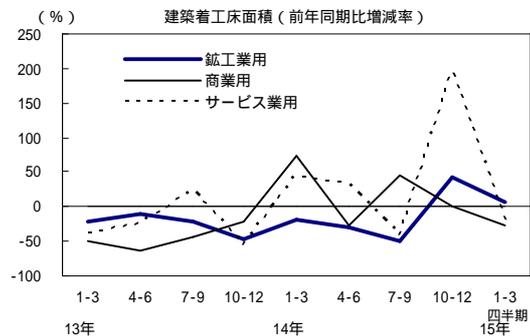
(3) 設備投資の14年度実績見込みは13年度実績を下回っている。

企業短期経済観測調査 [設備投資 (3月調査)]

(前年度比増減率、単位：%)

|      | 14年度実績見込み     | 15年度計画 |
|------|---------------|--------|
| 全産業  | 14.6 [ 13.8 ] | 0.4    |
| 製造業  | 24.6 [ 23.4 ] | 0.3    |
| 非製造業 | 7.0 [ 6.5 ]   | 0.8    |

(備考) [ ]は前回(12月)調査結果。



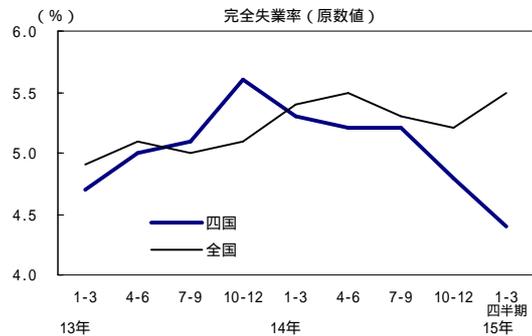
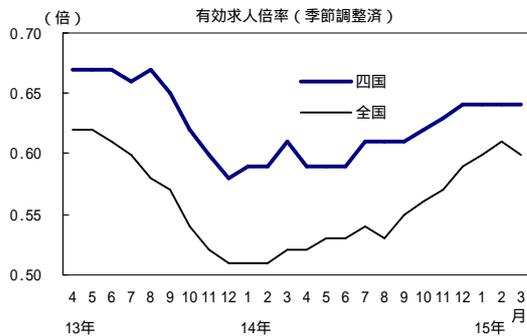


### 3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率はこのところ横ばいである。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (4月調査)[雇用関連 (現状判断)]

「1年近く職に就いていない人の求職者数が増加している (職業安定所)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

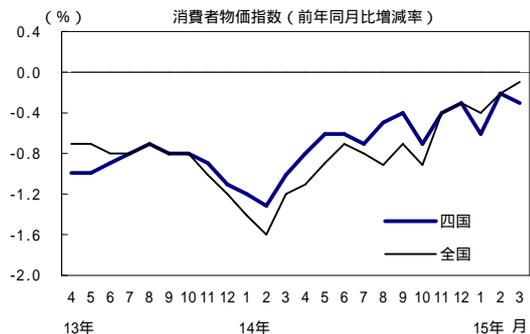
(2) 企業倒産は件数、負債総額ともに減少している。

4月に負債総額が大幅に増加している。

(3) 消費者物価指数は下落幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

|       | (件、億円、%) |      |        |         |       |
|-------|----------|------|--------|---------|-------|
|       | 14年4-6月  | 7-9月 | 10-12月 | 15年1-3月 | 15年4月 |
| 倒産件数  | 147      | 144  | 149    | 121     | 60    |
| (前年比) | 16.7     | 21.0 | 5.1    | 28.8    | 17.6  |
| 負債総額  | 377      | 307  | 273    | 350     | 563   |
| (前年比) | 30.2     | 40.0 | 70.2   | 58.6    | 255.0 |



景気ウォッチャー調査 (4月調査)[合計DI (特徴的な判断理由)]

<現状>

・客の購買動向は、同じ商品でも通常価格だと購入せず、販売量も増加しないが、特売になると急に動き出すという状況にある (スーパー)

<先行き>

・得意先の予算削減の影響で、同業者間の価格競争がさらに激しくなっている (広告代理店)

